

御所湖随想

H21年10月 No.3

もみじ

例年であれば、御所湖周辺の紅葉は、10月中旬頃から始まり、11月中旬ころまで楽しむことができます。紅葉といえばモミジとと思っている人が多いと思いますが、落葉樹はほとんどが葉を落とす前に緑の着物を赤や、黄に着替えます。冬ごもりのための生理的な変化だと言ってしまっただけでは身も蓋もありませんが、人はその変化を楽しむ眼をもっているのですから素晴らしいですね。



ヤマモミジ



オオヤマザクラ

モミジ以外にも、サクラ類も綺麗な色を付けます。オオヤマザクラが早くから色をつけますが、順にウワミズザクラ、そしてソメイヨシノ。発色の度合いはその樹の状態と遺伝的形質に左右されるようです

が、春先に枝が赤くなるものは葉を落とす時も赤みが強いようです。

赤の色素を多く持っているからではないでしょうか。



ウワミズザクラ



ブルーベリー

他に、赤い物では、ブルーベリー、ニシキギなどがとても綺麗です。

黄色に代表されるのは、イチョウでしょうか。イチョウは、さくら園の曲り家にありますが、他の木と混じってあまり存在感を示していません。

今年は、ギンドロ（除園地）、ユリノキが綺麗な姿を見せています。



ユリノキ



ギンドロ